

【新型コロナウイルス流行に伴うイベント・講座等の中止・延期】
まん延防止等重点措置の適用により1月24日（月曜日）から3月31日まで市内公共施設を休館としました。
※3月については、勤労女性センターまつり、坂戸につきい桜まつりも中止。

成人の感染症対策について

市の取組と带状疱疹ワクチンへの助成を問いました。
成人の定期接種には、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、風しん等があります。インフルエンザは、今年も65歳以上と6か月から中3生まで無料で接種できます。高齢者肺炎球菌は、1回だけ65歳以降5歳刻みの対象年齢の方が個人負担金三〇〇〇円（一部免除あり）で接種できます。

風しんは、昭和37年4月2日から54年4月1日生まれの男性の方が助成金を受けて検査と接種ができます。この年代の男性は、風しん抗体の無い方が多く感染流行を招き、妊婦さんが感染し、先天性風疹症候群（白内障、心疾患、難聴等）の赤ちゃんが生まれる原因となります。本市では、16%しか抗体検査を受けていません。案内を市から送付していただきます。その旨に同意していただきます。予防できる障がいにはワクチン接種で防ぎましょう。



さくらねご無料不妊手術事業とは

市では公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねご無料不妊手術事業（行政枠）」と協働し、どうぶつ基金から受け取った**無料不妊手術チケット**を登録ボランティアの皆さんに配付し、飼い主のいない猫へ利用していただく事業を行っています。不妊手術（**どうぶつ基金による費用負担**）を行うことにより、**これ以上飼い主のいない猫を増やさないようにする事業**です。

元年度 TNR実績総数 208頭。オス94頭。メス114頭。29地域。
2年度 TNR実績総数 203頭。オス97頭。メス106頭。
多頭崩壊の現場2件を含む、25地域。
3年間で**580頭の避妊手術実施**。

※Tは捕獲（Trap）Nは不妊・去勢手術（Neuter）Rは元の場所に戻す（Return）
【地域猫活動の支援】**県の補助金を利用して市の環境政策課と協働**
粟にゃん、ひのにゃん、ニンにゃんの3団体が地域猫活動をしています。飼い主のいない猫が一代限りの寿命を全うするまでの間、地域の皆さんが主体となり、不妊去勢手術を施し繁殖を抑え適切に管理していくのが地域猫活動です。エサやりや、トイレの設置、清掃などのルールを地域で定め、人も猫も住みやすい街を作る。その支援をしています。詳細は、広報さかどNo.1226に記載

成人の任意接種には、妊娠を希望する女性及びその配偶者を対象とした風しんと、带状疱疹があります。
带状疱疹は、毎年60万人が発症し、8歳までに約3人に1人が発症すると言われています。内服薬で治療できますが、带状疱疹後神経痛や難聴や顔面神経麻痺になることがあります。
ワクチンで発症や重症化を予防できます。



【新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンの接種間隔について】



【譲渡対応】

2年度は、9件、総数17匹。赤ちゃん猫子猫、成猫など訳ありにて対応しました。避妊手術の移送中に産まれたり、捕獲時に赤ちゃんの場合、譲渡までの飼育が必要となります。人なれさせて、譲渡先で可愛がられるよう、JB-CLOVERさんと協働しています。

*特定非営利活動法人エヌピーオー事業協議会が運営するJB-CLOVER（B型事業所）カフェを営業しています。住所：坂戸市南町五一十六（坂戸駅南口から徒歩3分）
営業時間：十一時半～十八時。ランチは前日までの予約が必要。
TEL：049-277-3626
JB-CLOVER 利用者さんと保護猫の社会化の取組



※3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種前後も13日以上開ける必要があります。ワクチン接種に係る専門的な相談を受け付け
埼玉県新型コロナウイルスワクチン専門相談窓口
TEL:0570-033126（ナビダイヤル）
毎日24時間受付

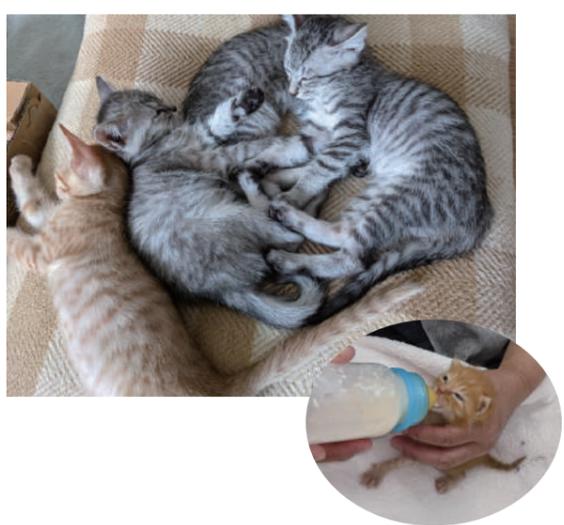
◎ 予防接種健康被害救済制度があります

予防接種では健康被害（病気になったり障がいが残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。



チームCさかどでは、坂戸市周辺での譲渡を推進するマッチングシステム「命のバトンプロジェクト」をスタートさせました。興味のある方は下記ホームページなどをご覧ください。
これから、取り組みたいことは、ペット防災だそうす。
命のバトンプロジェクトに置いて、子猫の預りボランティアさんを募集しております。詳細はお電話ください。チームCさかど、伊藤まで。080-5899-5289

事情があって飼いきれない猫を那須塩原の終生飼養施設へ移送



一般質問とその後 人も猫も住みやすいまちへ

平成30年6月定例会で動物愛護についての一般質問
問 県では野良猫に不妊・去勢手術をし、地域の協力を得た上で、トイレや餌やりのルールを決め、その猫一代に限り地域で面倒を見る地域猫活動等を推進するための事業に取り組んでいる。野良猫の被害に困っている市民、自費で活動している市民のためにも、県の取組を進める考えは。
答 地域猫活動は効果的であるが、補助金交付期間が3年以内であり、猫に対する様々な考えがある。
平成31年3月定例会では猫が引き起こす環境問題について一般質問
問 市内で不適正な飼養により多頭飼養崩壊を招き、猫のふん尿により悪臭を発生させ、近隣住民が2年間にわたり被害を被った事例があるが、本市の対応は。
答 県所管のため、県動物指導センターが指導したが改善がなく、再度センターと合同で赴き、県からは多頭飼養や現状が虐待に抵触する可能性等を、市からは悪臭発生の防止を指導した。
問 今回の猫の多頭飼養崩壊は、野良猫を保護したことに起因する。野良猫対策の取組は。
答 市民からの猫に関する相談・苦情が増え、生活環境の保全を図るため、「さくらねご無料不妊手術事業」に登録し野良猫対策を行う方々と連携する。
坂戸市ではどうぶつ基金の行政枠により「のら猫の不妊去勢手術の無料チケット」を配布しております。詳細は環境政策課まで。TEL:049-283-1331(代)

市民ボランティアの「チームCさかど」の活動を紹介します

猫（のら猫や飼い猫）による苦情・トラブル・困りごとをなくす活動を行っているチームCさかどさんが、ホームページで実績を報告してくれています。
<https://team-c-sakado.com/>

「のら猫・かい猫・人が快適に暮らせる街」
づくりをめざします！
チームCさかど
のら猫被害対策・TNR・地域猫・多頭対応・啓発
耳カット 避妊済みのどらちゃん オス 推定5才

命のバトンプロジェクト
チームCさかど 公式LINE

命のバトンプロジェクトとは
チームCさかど独自の譲渡システムで、2021年5月からスタートいたしました。やむ負えない事情、このままでは命の危険があると判断した場合に限りレスキューし、譲渡できるように人馴れさせ、初期医療を施し、新しい家族として迎えて貰えるように譲渡先を探します。